

指定管理施設(サンホーム滝呂)事業評価表
滝呂老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H30年度	R1年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
いきがいきづくり、教養講座運営事業	1	パソコン教室	定員	回数	実施日	ねらい いきがいきづくりとして就業や生活に役立つ技術を身につけてゆく。							●29年度に廃止したが、受講生からの強い要望により、半期12回実用コース/2回実施。しかし、過去受講生が大半で、定員を超えなかったため、定期講座は今年度限りで終了、太平老人センター教室やサロンを勤める。前期は講師作成資料での授業、後期は既存のテキストドリルを使用し、受講生の希望を随時取り入れながら実施し、上級レベルの講座で好評だった。3月の休講を、次年度夏に振り替えて実施予定。
	1	EXCEL実用	10	24	4~9月第1・3水曜日						12	74	
	1	WORD実用	10	24	10~3月第1・3水曜日						10	70	
	1	小計		48					0	0	22	144	
	1	趣味教養の教室	定員	回数	実施日	ねらい 趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。							●手芸をやりたい方々に人気。季節の飾り小物やバッグ作りを中心に実施。新規5人含め受講生15人。各自レベルに合わせてのきめ細かい指導で人気だが、高齢化で辞める方も増えてきた。数少ない『技術系』の教室として、初心者まで幅広く、充実して受講いただくことができた。年1回の作品展出品や、普段使い出来る物を作る事が意欲につながっている。3月休館時には道具類の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。
	1	マクラメ教室	15	24	第1・3火曜日				23	233	21	230	
	1	セラリーナ教室	10	24	第2・4火曜日				24	310	21	230	
	1	ペン習字教室	15	24	第2・4水曜日				24	411	22	342	
	1	初心者健康麻雀教室A	12	24	第1・3月曜日				23	393	20	334	
													●受講生15人で開始したが、高齢化で途中辞退が3人あった。滝呂発祥の楽器で、秋まつり等市内イベントでの発表や、デイサービスやサロン等慰問活動も精力的に行い、やりがいにつながっている。『難しそう』と敬遠されがちだが、体験や見学をオープンにし、受講生増加に努めている。3月休館時には電話での状況確認・報告を実施。
												●受講生23人。途中辞退2人あったが、新規で5人入るなど受講者数は安定している。60代が多くなり、仕事で休む方が増えた為、参加率は下がり気味だが、宿題だけ提出しに来るなど、受講生は意欲的に参加。各自のレベルに合わせて、ボールペン、筆ペン、万年筆などを懇切丁寧に教えてくださる講師が人気。3月休館時には電話での状況確認・報告を実施。	
												●未経験者を中心として開講。台を4台に増やし定員16人に新規5人を含む受講生18人、5人が男性。仕事を持つ60代が多い。『飲まない吸わない賭けない健康麻雀』を教えて頂き、初心者の女性も入りやすく、60代が中心で、団塊の世代の男性獲得にもつながっている。3月休館時には道具の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H30年度	R1年度					
いきが いづくり、 教養講座 運営事業	1	中級健康麻雀教室B	12	24	第2・4木曜日			24	276	22	224	●13人中10人が男性と、男性利用者獲得に繋がっている。高齢(80代中心)クラスで、認知症予防、閉じこもり予防としても人気だが、病気等で3人が途中辞退。新規5人。Aクラス卒業後の受け皿として開講していたが、曜日が合わずAクラスから移動できる方が少ない為、令和2年度から初心者クラスに変更して受講生増加を目指す。3月休館時には道具の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。
	1	混声歌声教室	50	12	第2火曜日			11	348	10	345	●受講生47人。新規16人。夫婦参加も増え、男性8人に増加。音楽療法士の講師が、歌脳トレや本格的な三部合唱も盛り込みながら楽しく講義。60代から90代まで幅広く人気。会場になるホールの暑さ寒さが厳しく、夏期冬期の参加者数が減少したり、月一回の忘れや用事での休みが多いが、秋まつりの舞台での発表は、意欲につながっている。3月休館時には電話での状況確認・報告を実施。
	1	園芸教室	20	4	6/4・9/3 12/3・ 3/3(中止)			4	73	3	54	●キャンセル待ちもある人気教室だが、材料の都合で定員を20人に減らして実施。講師のご厚意で、安価で季節に合った寄せ植えと技法を受講でき、人気が高い。もっと回数を増やしてほしい、との希望もあり、好評を得ている。3月休館時には電話での状況確認・報告を実施。
	1	男塾 料理入門編	8	12	第4木曜日			12	114	11	80	●男性対象教室。使用場所の都合上定員8人のところ、新規3人合わせ10人受講。男性同士の仲間づくりの場となった。だしの取り方や包丁の使い方など料理の基礎から実施。このクラス受講をきっかけに、パソコンなどの他教室受講や、浴場利用につながったが、定員に満たず今年度で閉講。次年度は単発教室や別の男性教室を検討していく。3月休館時には道具の殺菌消毒と食材の整理、電話での状況確認・報告を実施。
	1	はなまる編み物教室	12	12	第1金曜日			12	105	11	111	●新規3人を含む13人が受講し、途中辞退2人で世代交代が進んでいる。各自のレベルで希望の物や実用的な物が作成できるため、喜ばれている。講師の気さくさとわかりやすい指導で、和気あいあいとしたクラスになっている。月一回の教室に通うことと、自宅での制作活動が意欲につながっている。3月休館時には電話での状況確認・報告を実施。
	1	らくらく速読教室【新】			第1・3木曜日					20	75	30年度シニアアワードで実施し、10人以上の参加者と好評だったため、正式な教室として新規実施。しかし、受講生が集まらず7人で開始も半期で3人に減り、受講生には『新聞を読むスピードが上がった』『脳トレ効果があった』『楽しい』と好評ではあったが、今年度で中止。3月休館時には電話での状況確認・報告を実施。
			小計	160				157	2,263	161	2,025	
			計	208			12	13	157	2,263	183	2,169

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H30年度	R1年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
自立生活維持支援事業		運動教室	定員	回数	実施日			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	元気印健康教室	15	10	第2・4月曜日			19	245	16	156	●新規3人入り受講生13人。包括支援センターや専門講師と連携を取りながら実施し、アンケートで人気のあった『3B体操』や『ヨガ』、『メイク講座』『脳トレ運動』『ピラティス』などを組み、高齢者に必要な情報や運動など、幅広く楽しみながら、健康作りに生かしていただいた。センター内の他教室も取り入れることで、他教室受講生確保にもつながった。今年度人気が高かった『バランスディスク』に特化した教室に2年度から変更し、受講生増加を目指す。また、元気で人気だったヨガなどは、シニアフィットで実施予定。3月休館時には道具の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。
	1	筋力アップ体操教室	30	20	第2・4月曜日			18	529	16	447	●60代の若年層を中心に、新規17人を含む41人で実施。立って行う運動を中心にリズム体操や筋トレ、バランスディスク、脳トレ運動などを行い全教室中で一番運動量、内容共に高難度で実施。また、移動老人センターで筋力アップ講師の体操教室を継続して行ったことで、若年層と広範囲地域の参加者を大きく確保できた。『激しいけれど、笑いながら楽しく運動できる』と人気のクラスとなっている。3月休館時には道具の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。
	1	バランスボール教室	35	48	毎週木曜日			45	1,017	40	618	●小学校長期休暇中は区民会館で『バランスディスク』を実施して毎週実施し、『毎週参加することで体調管理できる』と喜ばれているが、10年担当した講師から1昨年変更、新講師に馴染めない高齢受講生の辞退が相次ぎ、受講生が大幅に減少。新規受講生を増やせるよう移動老人センター等でのPRIに力を入れている。3月休館時には道具の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。
1	太極拳教室	20	21	第1・3月曜日			19	335	15	268	●受講生23人中9人新規。男性9人。仲良くなった男性同士が他教室にも誘い合っているなど、仲間づくりの場となっている。アシスタントも2人おり、丁寧な講師の指導も好評。60代～70代に人気で、『意外と筋力がつく』、『講師が懇切丁寧』と熱心に通われる方が多い人気教室となっている。3月休館時には電話での状況確認・報告を実施。	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取り組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H30年度	R1年度					
自立生活維持支援事業	1	ハッピーピラティス教室A	12	24	4~3月第2・4木曜日			24	255	23	294	●新規6人で18人で開始し、4人途中辞退。(仕事、病気)冷え性改善、腰痛予防等で人気。受講生を増やす為、元気印健康教室や移動老人センターでの実施したことで、ピラティス受講につながった方も多く、人気教室となっている。3月休館時には道具の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。
	1	ハッピーピラティス教室B	12	24	4~3月第2・4木曜日			12	65			
	1	80代・90代の体操教室	10	24	4~3月第1・3月曜日			23	279	21	262	80代以上を対象とした転倒予防教室。他教室の高齢受講者の受け皿となり、平均85歳、新規6人含め18人と増加。『80歳になったら受講したい』との希望も多く、ロコミで増えている。年齢的に体調不良や骨折、入院等の欠席も多いが、教室に参加しづらくなる80代以上の閉じこもり予防として好評を得ている。『総合事業』で体力が上がった卒業生や、他運動教室でついていけなくなった方の受け皿とし、『総合事業』と同講師が行うことで、機能回復につながる運動や脳トレを実践できている。3月からの休館時は、道具の殺菌消毒と、電話や直接訪問等で体調確認やフレイル予防のお知らせ等現状把握に努めた。
	1	男塾 道具を使った運動教室	8	1	第1・3金曜日			20	159	16	153	●男性限定で新規2人含む12人が受講。道具を使って効率的に運動し『仲間ができて楽しい』と好評。退職後、閉じこもりがちだった方が、この教室をきっかけに、太極拳や男の料理教室など、他教室受講につながったり、仲間づくりの場となっている。3月休館時には道具の殺菌消毒と電話での状況確認・報告を実施。
	1	児童センター合同 卓球教室		2				3	33			シニアフィット教室に変更
		小計		174				183	2,917	147	2,198	
		相談事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	健康相談		12	第4火曜日 午前	包括支援センターの職員(看護師)による健康指導・相談、介護保険などの相談。血圧測定を行う。		12	118	11	98	●包括支援センターの看護師に直接相談でき、安心して相談に来られると人気。継続した健康管理や介護予防、家族の介護について等の相談が主。包括支援センター担当者と連携し、参加者を増やす為、PRの掲示方法を工夫したり、担当者が積極的に利用者へ声がけし、入りやすくするなど工夫、開催日や開催時間を何度か変えて様々な時間帯の利用者にPRするなど努め、徐々に利用人数が増えている。
	1	健康相談		12	第3水曜日 午後			12	74	11	94	
		小計		24				24	192	22	192	
	計		198			12	13	207	3,109	169	2,390	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
						H30年度	R1年度					
多世代交流事業		合同事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	ふれあい夏まつり		1	7月27日	子ども・高齢者・障がい者等誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。		1	265	1	265	●児童センター/デイサービスとの合同事業。児童130人、大人135人。台風6号で大雨となった為、終了時間を繰り上げて実施。小中学生ボラやシニアボラも多く参加。子どもたちが主で考えた『ゲームコーナー』、学習館と連携した『昭和初期の多治見写真展』等人気コーナーに加え、『老後あんしん講座』『産後骨盤矯正マッサージ』など新たなコーナーを、アンケートを基に実施して好評。サンホーム内の各センターを紹介するパネル設置で、地域の方にサンホームの活動を知っていただくことができました。
	1	ふれあい秋まつり		1	11月16日			1	540	1	600	●児童287人、大人313人。老人センター教室発表や、児童センター一輪車クラブ発表、なごみの杜等の飲食物販売の他、『IGK48』や『チーム清流ミナモ』のステージ、包括支援センターと地域の薬局が協力して行う『骨密度検査と相談』、運動講師による『ベビママ骨盤矯正マッサージ』、飲食販売で地域の『山豊製麺』を利用するなど、地域色が強いものを中心に実施、地域貢献及び集客へとつながった。
	1	ふれあい春まつり		1	3月14日(中止)			1	600		中止	●新型コロナ感染拡大を防ぐため中止。 地域・関係団体によるバザー・飲食物等販売や児童センターボラキッズが考えた遊び・工作のコーナーを中心に、ステージでは、『多治見中学校吹奏楽部演奏会』や『笠原太鼓ISAMI』ステージなど地元をテーマにして予定していた。民生委員や児童センター、老人センター利用者及びサークル等にボランティアスタッフをお願いし、地域交流事業と、子どもスタッフ・シニアボランティアの発掘・活躍の場となる計画を立てていた。
	1	児童センター合同 卓球大会		1	7/24 7/31			2	22	2	45	●卓球大会は、児童センターと合同開催。児童26人、高齢者19人。階級別個人戦や敗者復活戦などで年代が違って楽しめるよう工夫。高齢者ももちろん、小学一年生から中学生まで楽しみにしている多世代行事。また、笠原や市之倉の高齢者卓球クラブにも声をかけ、多世代だけでなく、多地域交流ともなり、初心者から上級者まで楽しめる行事となっている。 3月は新型コロナ感染拡大を防ぐため中止。
1	うながっぱ交流会【新】		1	8月9日			1	170	1	149	市役所の協力で実施。児童63人、大人86人。うちわを取りに来館された地域の方には、教室や各センターの行事案内をお渡ししてPR。老人センター、児童センター、デイサービスとうながっぱとの交流もあり、多くの方に喜んでいただくことができました。	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					H30年度	R1年度						
多世代交流事業	1	児童・老人・デイ合同 運動会	/	1	10月16日 (中止)			1	60		中止	●運動会は、館内での感染症発生の為、中止。デイサービス、児童センター幼児クラブと合同で実施予定だった。
	1	児童・老人・デイ合同 花もち作り	/	1	12月10日			1	77	1	54	●花もち作りは、サークル『さくらの会』がボランティア参加し、児童センターとデイサービスと合同で実施。児童6人、高齢者48人。デイサービスの外出行事と重なり、半数参加となったこと、例年一緒に行っていた障がい児のクラブが実施しなかったことで、人数は減少したが、老人センター参加者は30人と増加。伝承行事を年代関係なく行い、手伝いあうことで、地域交流及び多世代間交流ができた。
	1	児童・老人・デイ合同 お花見会【新】	/	1	4月4日			/	/	1	46	●児童6人、高齢者40人。遊歩道の桜並木を利用し、老人センターは『歩き方教室』を同時開催して、ウォーキングでの体づくりを推進。小学生がデイサービスの方の車いすを押して一緒に歩き、3センターで一緒にストレッチし、一緒におやつを食べることで交流を図った。初めての試みで好評を得た。
	1	児童・老人・デイ合同 節分まめまき	/	1	1月30日			1	58	1	49	●デイサービス・児童センター・老人センターの合同事業として実施。児童25人、高齢者24人。幼児クラブとともに行い、各センター職員による鬼の仮装や、鬼退治ゲームでは、高齢参加者に泣きつく幼児と一緒に豆をぶつけて楽しむ姿などあり、とても喜ばれた。また、星ヶ台保育園の園児が『節分魔よけのお札』を毎年届けてくださり、伝統行事を伝えるため、また地域交流の場としても、貴重な機会となっている。
	1	児童・老人・デイ合同 新春お茶会	/	1	1月4日			1	74	1	71	●児童8人、高齢者63人。新春お茶会は、大正琴サークルと地域の三味線グループによる『演奏会』、『お抹茶立て』でさくらの会(手芸サークル)や個人シルバーボランティア、小中学生ボランティアと母親クラブが活躍、各センターのボランティアを集結しての運営となっている。地域の『和菓子屋 やまもり』に協力を仰ぎ、目玉となる和菓子を作成していただくことで、子どもから大人まで、多くの地域の方にお越しいただけた。
	1	児童合同 盤上ゲーム会	/	1	7月31日			1	8	1	4	●児童2人、高齢者2人。囲碁サークルや利用者により協力をお願いし、小学生と『囲碁・将棋・オセロ』大会を実施。囲碁サークルが、人数減少のため、活動休止、一般来館者に協力を仰いでの実施となった為、参加者は減ったため、今年度で終了とし、次年度は別の行事を検討する。
	1	さくらまつり	/	1	4月14日			1	275	1	225	●地域が実施する『さくらまつり』に、『うさぎの会飲食販売』『セラリーナ発表』での参加に加え、児童センター合同『お菓子すくい』と、新規で『脳トレ工作コーナー』を実施。幼児から高齢者まで参加して下さり、中学生ボランティアが活躍して子どもから高齢者まで参加してもらえ、参加者に各センターパンフレットを配布することでPRを行うことができた。
	1	教室参加児童	/	1	7月～2月			/	4	/	11	●小学校や幼稚園等の休校日や早帰りの日に、体操教室を児童・幼児親子にも開放して体験参加。児童が頑張る姿に高齢者も『楽しかった』『元気をもらった』『やる気が出た』と言っていただけ交流の場となっている。
		小計		13			12	2,153	11	1,519		

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
						H30年度	R1年度	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)			
多世代交流事業	1	多悠連・児童センター合同事業	定員	回数	実施日	ねらい 地域の、センターまで来ることができない方たちと子どもたちの交流を図るほか、ひまわりサロン、老人クラブ等の支援を行う。新規開催地を開拓し、より多くの地域で、教室や施設紹介を行い、利用者の拡大を図ることを目標とする。			実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	●多悠連『愛友会』及び児童センターと合同で毎年実施しており、愛友会の予定に合わせ、気候が良く、児童が多く参加できる春休みに企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止。次年度改めて開催する。	
		多悠連 愛友会(グリーンビレッジ滝呂台)		1	3月28日(中止)		1	42		中止				
	1	多悠連 百寿の会(滝呂台コモン集会所)		1	2月29日(中止)			1	32		中止	●多悠連『百寿の会』及び児童センターと合同で毎年実施しており、百寿の会の予定に合わせ、児童が多く参加できる2月末の土曜日に企画していたが、インフルエンザ蔓延による滝呂小の学年閉鎖及び新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため等を受けて、中止。次年度改めて開催する。		
		小計		2				2	74	0	0			
		合同事業	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)		
	1	企業タイアップ 母親クラブ合同 『チーズを愉しむ会』		1	10月1日	地域の母親クラブとの交流を図り、児童と高齢者が交流することで地域の活性化及びいきがいつくりへとつなげる			1	39	1	25	●企業『雪印メグミルク』と母親クラブと合同で実施。教室参加者やうさぎの会など、調理に係る方を中心に広く声をかけ、参加いただいた。『勉強になった』と好評だった。企業からの人数制限により25人参加。母ク23人、高齢者2人。	
	1	企業タイアップ 母親クラブ・児童センター合同 『炊き出し訓練』		1	3月31日(中止)			1	39		中止	●例年、春休みに、企業『共和ライフ』と児童センター、母親クラブと合同で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止。		
		小計		2				2	78	1	25			
		計		17				13	13	16	2,305	12	1,544	—

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取り組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価			
						H30年度	R1年度	実施回数	参加延べ人数(人)	実施回数	参加延べ人数(人)				
地域交流事業	1	出前教室	定員	回数	実施日	地域の、センターまで来ることができない方たちの交流を図るほか、ひまわりサロン、老人クラブ等の支援を行う。新規開催地を開拓し、より多くの地域で、教室や施設紹介を行い、利用者の拡大を図ることを目標とする。			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	●市之倉では、地域福祉協議会と協力して開催。ひまわりサロンに向向形で実施。昨年新規開拓し、サロンがなく80台前後の高齢者が多い『西公民館地域』及び、ハイランドの『童謡の会』は、継続して今年度も訪問。追加して依頼をいただくなど、つながりを強化する事ができた。		
		市之倉移動老人センター ①ニュータウン集会所 ②なでしこサロン(東公民館) ③山百合サロン(愛岐パーク) ④西公民館 ⑤童謡の会(ハイランド) (市之倉地域福祉協議会協力)					5/20 6/24 8/22 10/9 11/25 11/28 1/23 2/17			6	124	8		178	
		40区移動老人センター【新】 (ふれあいラジオ体操) TES集会所 (滝呂包括支援センターと協力)		1	3月11日 (中止)				1	20				中止	滝呂包括支援センターが人材育成として実施する『ふれあいラジオ体操』事業において、滝呂老人福祉センターの事業紹介を実施予定だったが、 <u>新型コロナ感染拡大を防ぐため、中止。</u>
		笠原森下センター		6	5/16 7/4 9/5 11/7 1/16(中止) 3/5(中止)				6	122	4	86		●『さくら会』サロンと地域の民生委員と連携して実施。老人センター職員が講師となり、体力や得手不得手に関係のないレクリエーションや歌を中心に、季節の工作なども実施して、飽きが来ないようにしている。男性参加者も増えて楽しんでいただけている。1月はさくら会の都合により直前で急ぎよ中止、3月は新型コロナ感染拡大を防ぐため、中止。	
		坂上サロン (ひだまりサロン)		1	6/10 3/9(中止)				1	20	1	17		80代後半から90代の方が多く、年々人数は減少しているが、新規参加者も増えてきて、世代交代してきている。サロンに来るために体力維持を頑張っている、との声も聞こえる。老人センター職員による脳トレとレクリエーションで楽しい時間を過ごしてもらうとともに、機能訓練や自宅でできる運動、リハビリ等を実施。サロン参加者で気になる方を包括等と働きかけ、総合事業に2人参加していただくなど、見守りの場となっている。 <u>3月は新型コロナ感染拡大を防ぐため中止。</u>	
	養正移動老人センター ①ふれあいサロン養正 (養正小学校) ②TGKいきいきサロン (市役所本庁) ③創造館体操サロン (養正地域福祉協議会協力)			4/11・5/9 5/13・6/6 6/13・7/11 8/8・9/12 9/12・ 10/10 10/21 11/14 12/12 1/9・2/13 3/12(中止)					13	471	15	553	地域福祉協議会と連携を取り実施。ふれあいサロン養正やTGKサロンでは、手先のリハビリや認知症予防を兼ねて、工作と脳トレを中心に職員が実施。80代以上の高齢者が多い為、気になる方は包括にも連絡したり、介護予防教室を紹介するなど、地域の見守り活動の場ともなっている。また、創造館体操サロンは、若年層の元気な方が多いため、サンホームで活躍される体操系の先生3人に交代で月一回体操をしていただき、サンホーム事業の行事等PRすることで、滝呂の教室受講に10人程度つなげることができた。		
		小計		9				27	757	28	834				

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H30年度	R1年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)		
地域交流事業		単発事業	定員	回数	実施日	地域の、センターまで来ることができない方たちの交流を図るほか、ひまわりサロン、老人クラブ等の支援を行う。新規開催地を開拓し、より多くの地域で、教室や施設紹介を行い、利用者の拡大を図ることを目標とする。			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	6月のお楽しみ会			6月8日				2	112	1	70	●児童20人、高齢者50人。『野菊の会・琴和会・撥の会』(三味線・琴・太鼓)の地域慰問ボランティアさんに初めてお願いし、梅雨時の利用者が減る時期に新規で開催。雨で出足が遠のいていた高齢者や児童も多く来館され、好評だった。
	1	児童・老人・デイ合同 縁日			8月23日 8月24日				2	133	2	102	●デイサービス・児童センターと合同で開催。児童8人、大人94人。台風による警報が2日間とも出た為、児童センター不参加、一般来館も少数となり、参加者は減ったが、輪投げや干本釣り、ヨーヨー釣り、盆踊り、かき氷など縁日コーナーを設け、『懐かしい』と好評。小学生ボランティアが各コーナーを担当したり、高齢者とペアを組んで各コーナーを回り、老人センターのボランティアによる盆踊り指導やボランティアによる浴衣着せなど、地域の方の活躍で、盛り上がる事ができた。
	1	児童・老人・デイ合同 納涼お楽しみ会		1	8/15 8/16				2	122	2	172	●児童52人、高齢者120人。『滝呂太鼓と滝呂よさこい』によるステージと、『ボラキッズによるゲームコーナー』を実施。かき氷販売も行い、涼みながらの鑑賞。暑さで家に閉じこもりがちな高齢者と児童の、出かけるきっかけともなり、また、地域の方、児童の活躍の場となった。
	1	児童・老人・デイ合同 敬老会			9/13 9/14(中止) 9/16(中止)				2	136	1	46	●多治見市郷土資料室の協力を得て、『多治見懐かしアター』として、大正・昭和の多治見の写真を解説付きでスクリーンで紹介していただいた。「懐かしい」という声や、「多治見の歴史を知れてよかった」など、好評を得た。9/14・9/16は玄関舗装工事のため中止。
	1	児童・老人・デイ合同 年末お楽しみ会			12/26 12/27				2	140	2	109	●デイサービス・児童センターと合同で『多治見マジッククラブショー』と『るりの会マジックショー』鑑賞を実施。児童19人、大人161人。『楽しかった』『本格的なマジックが見れた』と言っていただいたり、孫と遊びに来た方などでにぎわった。敬老会や納涼お楽しみ会とともに、地域で活躍する団体や同年代の活動が、活力になったり、新たな趣味を見つける事にも貢献できた。
			小計		1					10	643	8	499
		計		10			13	13	37	1,400	36	1,333	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H30年度	R1年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)		
個人利用			定員	回数	実施日	ねらい 個人でも気軽に安心して利用できるような仲間作りの場の提供をする。							
	1	浴場			祭日と臨時休館日を除く月～金曜日 ※9/10・9/18給水ポンプ故障で中止				241	11,768	219	9,620	●浴場・和室(娛樂室)利用は、毎月のおたよりや教室でのPR、滝呂、笠原へのおたより閲覧、毎月の民生委員会でPRに加え、『移動老人センター』でのチラシ配布や、多悠連交流時でのPR、笠原福祉センターへのチラシ設置なども実施して、団塊の世代の車来館や、ウォーキング中に立ち寄りなどの若年層の新規浴場利用者が増えているが、長年利用してきた高齢利用者が来館できなくなり、世代交代も進んでいる。 トイレ故障による11/19～12/1の男性・多目的トイレ使用不可及び工事、館内での感染症発生や新型コロナウイルス感染拡大防止による自粛や閉館もあって、利用者数は減った。 浴場利用者の割合は、6割程度が男性となっており、夫婦での利用者も多い。 3月からのコロナ拡大を防ぐための休館時には、入浴道具やロッカー、ベンチ等殺菌消毒、使える箇所を制限し、閉館に備えた。また、一人暮らしや生活が不安な方等の、定期的な電話等での現状把握に努めた。
	1	和室・マッサージ器使用			祭日と臨時休刊日を除く月～土曜日				291	9,955	265	9,100	●和室利用は、マッサージ器・ヘルストロン・エアロバイク利用だけでなく、テレビを見ながらくつろいだり、歓談したり囲碁を行ったり、と交流スペースとなっている。 教室参加者にもPRちらしを配布したり広報し、教室終わりにマッサージ機にかかる方が増加した。 和室・マッサージ器等利用者の割合は、7割前後が女性となっている。使用頻度が高い機器の定期的なメンテナンス及び改修、積極的な新台購入、寄付受入で、満足いただけるよう努めている。 3月の休館時には、ヘルストロンやマッサージ器、運動機器、囲碁・将棋、図書、ベンチ等の道具類全てを殺菌消毒。座れるヶ所の制限や、図書の中止、機器の殺菌消毒薬設置等を揃え、閉館に向けて準備した。
	1	血圧計			随時				291	7,090	265	5,593	●入浴前後や毎日の健康管理をしていただけるよう、1階老人センターに設置。入浴や教室前後、体調チェックとして定期的にご利用いただいている。毎日測ることで健康に注目するようになり、月2回の『健康相談』に來所されるなど、相談につなげることができている他、浴場での体調不良で看護師や救急車を呼ぶ事が減るなど効果があった。3月の休館時には、血圧計の殺菌消毒を実施。
	1	土曜和室利用者			祭日を除く土曜日				51	168	47	211	●土曜日和室利用は、職員がいない土曜日でも使いやすいよう、土曜になると和室利用案内板や利用説明書きを置くなど、工夫をし、定期利用者が定着した。
		小計						874	28,981	796	24,524		
		計		0			10	10	874	28,981	796	24,524	—

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H30年度	R1年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)		
老人クラブ支援事業	1	多悠連	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	<p>●6/5及び2/3に笠原多悠連連絡会議に伺い、事業PRと情報交換を行い、センターに多悠連新聞や情報を設置。(6/5 37人・2/3 37人・年次Aにはカウントせず)</p> <p>また、滝呂台の老人クラブに、『移動老人・児童センター』として伺い、運動の提供と、児童との交流を実施予定だったが、新型コロナ感染拡大を防ぐため、中止。(地域交流事業内『出前教室』に記載。3/29愛友会・2/28百寿の会)『サンホーム滝呂』のPRなどを行い、娯楽室や浴場、行事参加へもつなげることができた。</p>
									3	114	2	74	
							小計		0		3	114	
	計		0		13	13	3	114	2	74	-		
独自事業	2	その他の教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	<p>●老人センター職員が講師を務め、自由参加で気軽に参加できるようにしている。認知症予防や仲間づくりを目的に、折り紙や季節の工作、おやつや料理作りなど、参加される方の希望を聞いて内容を定める。教室で習った事を地域のサロン等で教えたり、地域の施設等にプレゼントする方もあり、シニアボランティアの育成にも繋がっている。</p>
									36	269	32	227	
	2	きらめきクラブ		36	第2・4金曜 第3火曜	<p>仲間と楽しく折り紙や工作、簡単調理等を行うことで、閉じこもり予防と認知症予防、仲間づくりにつなげる。</p>			51	276	43	218	<p>総合事業『パワリハ教室』を卒業される方の受け皿として新規開講。資格を持った講師と職員で対応し、機械の台数等の都合上少人数教室だが、総合事業の半年から延長して教室を受講することで「円背が良くなり背中を伸ばせるようになった」「歩きが楽になった」など効果も高く、「受講費が上がっても通いたい」と好評を得ている。次年度から介護予防教室となる。</p> <p>3月からの休館時には、機器の殺菌消毒を実施。電話での現状把握と、自宅でできる運動の冊子と、フレイル予防の運動カレンダーなどを手渡し、または郵送と電話での確認をし、フレイル予防に努めた。</p>

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい	年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取り組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
				H30年度	R1年度						
独自事業	2	《新規》シニアファイト (歩きの教室1回、老後あんしん講座11回、女性の料理教室3回、高齢者の栄養講座(1回)、介護保険のやさしい話(滝呂・笠原)4回、卓球教室2回、干支の押し絵作り1回)中止➡あったか冬小物教室3回(講師体調不良で中止)、薬のちょっとした話1回(コロナウィルス感染拡大を防ぐため中止)	不定期	利用者へのアンケートや聞き取りで、『開催してほしい』と希望があったものを即時に単発教室として開催し、新たな利用者の拡大を目指す。			30	356	23	329	『介護保険のやさしい話』はアンケート調査で希望があったため滝呂に加えて笠原でも初めて開催。各2回講座で、包括支援センターが介護保険の仕組みについて説明し、デイサービスが『昼食試食会』も合わせて実施して大変好評。『老後あんしん講座』は、好評だったため毎月開催。『歩きの教室』は高齢者に多い転倒を防ぐため実施。またやってほしいと好評。、3/21に実施予定だった『薬のちょっとした話』は、コロナウィルス感染拡大を防ぐため中止となったが、利用者の悩み相談の中から企画、薬剤師に協力を仰ぎ、多くの方にご応募いただいていた。
	2	懐かしの映画会	4/18・5/30・6/20・7/27・8/29・9/9・10/28・11/21・12/19・1/30・2/10・3/25(中止)			5	102	11	129	●『懐かしの映画会』は、昭和初期の映画を中心に、リクエストを受けるなどして実施。『若い頃に戻れる』『たくさん笑った』など喜ばれ、定期開催を望む声も多く、好評。普段風呂利用のみの男性利用者や来館されることがない地域の高齢者も参加され、新規利用者の獲得につながっている。時間帯を変えて企画し、どの時間帯にも楽しめる方にも楽しんでもらえるよう工夫。サンホーム利用の足掛かりとなっている。 ※30年度まで映画会としてカウントしていた『ふれあい夏まつり』内での映画会(50人)は、31年度からカウントせず。	
	2	美空ひばりエクササイズ	4～9月までの健康相談日	気軽に体操しながら相談も行える場として実施することで、健康相談時の参加者増加を目指す。			10	30			健康相談者が増加により、30年度前期でエクササイズは終了。令和元年度は実施せず。
	2	ふれあい橙湯(去年は柚子湯)	1月10日	季節の伝統行事を行うことで入浴利用者増加を目指す。			1	58	1	50	●減っていた入浴利用者の増加を目指して実施。季節行事として昨年実施した柚子湯が好評だったが、柚子が手に入らず中止。代わりに、地域の方からいただいた橙で1月に「橙湯」を開催し、季節風呂を楽しんでいただいた。
		小計	86				133	1,091	110	953	
	2	シルバーボランティア		交流事業等で、特技を生かしてのボランティア活動をしていただく。			10	89	7	42	●合同事業のまつり時の出店やゲームコーナー等のボランティア、緑日での花餅づくり・お茶会での準備や大正琴演奏、作品展での展示準備ボランティアなどを、老人センター利用者やサークル、教室に声をかけて募り、特技を生かして活動していただいた。また、カウントには入れていないが、娯楽室の座布団や布製品の修復、縫製、足マッサージ機や麻雀台など機械類・木製品の修繕、絵画やパッチワーク、木製品、写真等自主製作作品を、定期的に玄関や娯楽室等に飾ってくださる方々など、不特定多数のご利用者様が、様々な形でボランティアで活躍して下さっている。(登録は未実施) ※作品展以外の行事ボランティアは、実施回数と重複。
	小計	0				10	89	7	42		

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取り組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
						H30年度	R1年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)			
独自事業		サークル	定員	回数	実施日	ねらい 一般教室を卒業し、自主的に活動することで、いきがいてづくりとして就業や生活に役立つ技術を身につけてゆく。また、技術を生かしたボランティアや、慰問活動などのシニアボランティアにも繋げていくことも目標とする。			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	●パソコンサークルは、パソコン教室卒業生の受け皿とし、生徒の疑問ややりたいことを反映した内容で授業を行っている。 ●真向法サークルは、参加者同士で教えあい、和気藹藹と実施。軍歌など歌いながら、体に無理のない体操ができる、と喜ばれているが、高齢化で会員数が減っている。 ●さくらの会は、高齢化してはいるが、参加者同士教えあい、教室参加を励みにされている方もあり、生きがいてづくりの場となっている。ボランティア活動も活発で、イベント時の教室開催やスタッフなど、積極的に行ってくださっており、シニアボランティアとして活躍している。 ●大正琴サークル、書道サークル、俳句サークルは、会員募集をおたよりやチラシで行ったり、ちらしの作成方法を教えることで、活動支援している。高齢化により減少しているが、どのサークルも、地域のイベントや作品展等での発表を精力的に行い、シニアボランティアとしても活躍している。 ●囲碁参加される方々は、高齢化による逝去、転居、体調不良等により参加者が二人まで減り、活動日数が減った。太平老人センターでのPRや滝呂小学校囲碁クラブの方へのPR等実施している。	
	2	パソコンサークル			第1・3金曜日				25	185	24	174		
	2	気軽に真向法サークル			第1・4火曜日				24	202	22	168		
	2	さくらの会			第1水曜日				11	110	10	92		
	2	大正琴サークル			第2・4木曜日				23	151	22	132		
	2	書道サークル			第1・3木曜日				23	135	22	128		
	2	俳句の会			第2金曜日				10	122	10	109		
	2	囲碁			随時				162	476	138	313		
		小計			0					278	1,381	248		1,116
		ひまわりサロン	定員	回数	実施日		ねらい 季節に合わせた食事と関係機関・ボランティア等と連携をとり、身近なテーマの講習、演芸等楽しい時間を過ごしていただく。			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)		参加延べ人数(人)
2	うさぎの会		12	第3火曜日				12	969	11	861			
	小計		12					12	969	11	861			
	計		98				13	13	433	3,530	376	2,972	-	